（別紙３）

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウイッシュ北方			
○保護者評価実施期間	令和６年　12月　１日		～	令和６年　12月　28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	令和６年　12月　１日		～	令和６年　12月　28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　１月　30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士経験20年以上が1人、10年以上が1人、５年以上が1人、教員免許を持つ児童指導員が２人、福祉サービス経験者の児童指導員が1人で全て資格や経験を持つ職員で支援に当たっているため、お子様1人1人のニーズに合った支援を提供出来る	・資格や経験はあるが常に研修などに参加し、より良い支援を行えるように取り組んでいる	・今後も引き続き、様々な研修に参加したり、資格を取得したりして、それぞれのお子様に寄り添った支援を行っていく
2	・営業の時間が18時までという事でじっくり支援活動に取り組めたり、平日でも公園やお買い物など課外での活動も可能である	・毎月の活動の曜日が重ならないように半年に一度ぐらいのルーティーンで固定化しないようにして、曜日固定のご利用者様が様々な活動に参加出来るようにしている	・今後も新しい活動を考え、様々な体験を通して、お子様の成長を促していく
3	・児童発達支援と放課後等デイサービスの二つのサービスを行っているため、幼児から中学生まで幅広い年齢層の子どもたちがおり、大きい子が小さい子のお世話をしてくれたり、小さい子は大きい子の姿を見て、真似をして頑張れる良い関係や関わりが出来ている	・個々に合わせた取り組みが出来るように個別的配慮や支援を行っている	・日々の活動や遊びの中で自立及び就労に向けたプログラムを取り入れながら、先を見越した療育を行っている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが保護者に周知・説明されていない	・マニュアルを保護者に周知・説明する機会を設けていない	・それぞれのマニュアルを保護者様に共有出来るような形で今後、発信する
2	・看護師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士などの医療系スタッフがいない	・医療系スタッフの確保が困難なため	・積極的に医療系スタッフの雇用を考えているが経験のある資格者も多いため、常に研修などを受けて、対応をしていく
3	・地域の他の子どもとの交流の場や一緒に活動する機会がない	・健常児との交流を必ずしも希望されない保護者様もいて、なかなか踏み出せない ・それぞれの施設との営業時間などのずれがある	・今後、必要に応じて、対応を検討する